

次に、８番議員の一般質問を許します。８番見上政子さん。

○８番（見上政子さん） 午前中最後になりましたけれども、どうかお付き合いのほどよろしく願いいたします。

通告に従い、一般質問を２点行います。町長並びに教育長の考えを伺います。

まずはじめに、子育て応援の充実をについて伺います。

結婚して八峰町に住んで安心して子ども育てることは、町にとっては大変貴重な宝物として子育て応援をしていかなければなりません。若い世代の夫婦に町が寄り添い、妊娠から出産、育児サポートをして、八峰町は本気で子育てを応援してくれていると言われるためには、近隣市町にはない八峰町ならではの取り組みが必要だと思います。

教育産業建設委員会は、この任期中４年間、４県８市町村を視察研修してまいりました。子育て支援と人口増加など、先進事例を見てきました。共通した課題が見えてきました。長野県南箕輪村、茨城県境町、東京都日野市、北海道の白糠町、東川町は、人口が増える。減らないということです。そして共通していることは、妊娠、出産、子育ての全面的な応援です。

茨城県境町は「子育て応援に力を入れています」という見出しで、この８年間直近で新しくできた施設と題して、写真入りの立派なパンフがあります。その紹介する写真の中に６４か所の新しい施設が造られています。子育てについてですので、その冊子については少し触れさせてもらおうとすれば、このお金はほとんど町のお金は使ってません。あらゆる交付金を使い、ふるさと納税、企業版ふるさと版の資金を利用しています。その中には、子育て支援マンション、木造アパート、学童クラブ２か所も含まれています。首長がまちづくり参考を目標にする自治体３位です。先ほど笠原議員からもありましたけれども、このことをアピールしております。白糠町は「日本一子育て応援」と庁舎の玄関に大きく掲げています。

また、共通しているのは、学校給食の無償化、または若干の負担があるところです。あとは学童クラブ以外、登録していない子育てセンターがあるということです。もう一つ共通しているのが人口が増える要因として外国人の受け入れと移住者を受け入れる、その人たちのためのきめ細かい支援を行っていることです。その取り組みは半端ではありません。子育て支援課があったり、女性管理職者が半分以上あったり、女性のための就職相談として女性の就職お仕事相談のパンフには、民間と一緒に取り組んでいる内容が載っています。出産後のケアは、当町も訪問していろいろやってると思うんですけれ

ども、驚いたことに、この出産後、出産後ケアは、お掃除、配食、宅配クーポン券2万円、育児パス、カフェを利用するのに1万5,000円、子育てサポート等、様々なサポートがあります。定住促進はそこまでやらないと定着しないのではないのでしょうか。

そこで、我が町としてできることは、近隣よりも子育てしやすい、八峰町は子育てよいところ、このようなチームを作り、抜本的に取り組むことではないのでしょうか。

長野県南箕輪村は、最初打ち出したのが保育料が近隣で一番安いということで、近隣からの移住が始まったということです。

今、母親が求めていることをスピードをもって職員チームで組織することです。職員を育てることが人口増の鍵になっている共通のものと私は理解しております。子育てに遅れをとらないところが、その先の先を考えて政策を打ち出しています。これはインフラ整備のような多額の費用はいりません。いるのは人件費がいると思います。若干ですけれども。

そこで、当町の子育て支援について伺います。

給食費の無償化はまだ行いませんか。

学童クラブは1年から6年まで登録はできますが、一番必要としているのは小学校低学年までで、部活終了後、保護者が迎えに来るまでに別の施設を設けることを考えませんか。

そのような例がありました。昔、児童館的、保育センター的な施設だと思うんですが、今これが必要になっております。学童クラブに登録していなくとも、平日夕方まで長期間自由に出入りできる地域包括支援です。学童クラブは、春、夏、秋、冬、長期間、長時間の保育となります。その間の食料事情は、それぞれ持ち込むことで個人差が出ます。長時間もたない児童も出てくるのではないのでしょうか。私も何度か支援に入って、この実態を見てきました。昼食を出せるように何回か支援したりしませんか。おやつも与えるなど必要です。現に北海道東川町でもやっていました。学童クラブ以外の児童が利用する地域支援センターです。平日、部活動、習い事を終えてから自由に出入りできます。長期休み中使えるすばらしい施設は学校と併設され、私たちが視察した時は保護者が迎えに来る時間帯でした。とてもいいにおいがしたので、給食でも出たのかなと想像しておりました。

以上のことから、学童保育と、今現在で行っている学童保育はランチルームで行っております。ランチルームの空いているスペースを利用する学童は本当にこれ使いやすい

でしょうか。前の教育長は頑なにこのことを行ってきましたけれども、学童は学童、ランチルームはランチルームとして使い勝手のいいのが、これがそれぞれの用途ではないでしょうか。学童保育の居場所づくりをつくり、必要なことではないでしょうか。

以上のことの考えを伺います。

次に、猛暑から身を守る対策について考えを伺います。

7月15日から気温が29度を超え、夏休みに入る23日は30度超えが、月末にかけて5回、8月に入り6回あり、その間、28度、29度でした。関東以南に比べると天地の差ですけれども、例年30度1回あれば夏を感じてきたこの地域では、暑さに体調が慣れるまで大変な猛暑に体調を崩してしまいます、ということをよく聞きます。毎年、今年のような猛暑になると言われております。知り合いも救急搬送されましたが、熱中症は食欲不振から始まり、倦怠感、無気力になり、栄養失調から腎臓病など病気の併発して入院してしまうということになります。

八峰町ではどのような状況だったのか。救急車で運ばれた人が何人いるのか教えてもらいたいと思います。八峰町での現状の様子をお知らせください。

防災無線では、熱中警戒アラートのお知らせで、エアコンをつけて適切な温度で管理してくださいとありましたが、その都度気になるのは、エアコンない人はどうするのかという疑問でした。地球温暖化が加速していくのは世界的規模で取り組まなければならないと、パリ協定とその前は京都議定書が開かれていますが、CO<sub>2</sub>対策などはワーストワンは中国、そして日本は5位くらいになっております。

そこで伺います。

エアコンが全世帯に設置されていることを念頭に置いているのでしょうか。調査、行いますか。もはやエアコンは生活必需品であることから、次のように能代市は市民にお知らせをしています。能代市は熱中症予防のため、在宅エアコンが一度もない市民税課非税の高齢者世帯にエアコン購入費用を補助しますとあります。市内に居住し住所を有する方で、次のいずれの方々ということで、65歳以上の高齢者の一人暮らし世帯、そして65歳以上の高齢者のみの構成されてる世帯、65歳以上の高齢者と障がい者がいる世帯、世帯全員が市民税非課税または生活保護となっています。現に居住している住居においてエアコンが一度も設置されていない、または故障による使用ができ、エアコンがない、こういう方々に6万7,000円を限度にエアコン本体購入費と設置工事費合計の2分の1を補助し、見積額の2分の1または6万7,000円、限度額となっております。

こういう、そしてこれは4月、令和7年、今年ですね、4月1日からとなっております。

このように生活弱者の人たちの健康を守るために、エアコン設置を援助を能代市と同じか、もっとバージョンアップしたものを考えないでしょうか。長く続くと避難も必要になりますが、一度防災無線で峰栄館など避難場所があるとなりましたけれども、受け入れ体制はどのようになっているのですか。和室とか利用できるようになっているのか。そして公民館と連携を取っているのかということがちょっと疑問があります。ある人から「どうやって行けばいいのや」と冷ややかに言われたことがあります。地域のコミセンを避難場所にした場合は利用料を補助するとか、今後もある必要があるのではないのでしょうか。

同じことは学童にも言えます。学童クラブに所属していない子がエアコンのない部屋で過ごしていないかなどの調査を考えませんか。本来であれば地域包括センターや児童館があればいいのですけれども、今は現在はそういうのがありません。猛暑から一人も取り残さないための対策を考える必要があるのではないかと、教育長に考えを伺います。

以上です。よろしくお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。  
堀内町長。

○町長（堀内満也君） 見上議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、「出産後の家事及び育児援助について」であります。

議員がご視察された北海道東川町や都市部等においては、自宅の掃除や昼食の宅配などの家事代行サービスに対し、各自治体の子育て支援の一環として事業を実施しており、県内においても同様の事業を実施している市町村があることも把握しております。

一方、町では独自の子育て支援策として、出産祝金の配布や18歳までの医療費の無料化、小・中学校入学時の育児助成金の配布などを実施してきております。

今後は、能代山本地域におけるサービス提供が可能な事業所の把握や他市町村の動向を注視していくとともに、子育て世代とのヒアリングを重ねながらニーズの把握に努め、新たな子育て支援の在り方について検討してまいりたいと考えております。

次に、「猛暑から身を守る対策について」であります。

近年の地球温暖化による夏の猛暑により、高齢者の熱中症リスクが高まってきておりますが、今年の夏は、町内において4人の方が熱中症により救急搬送され、うち1名が65歳以上の高齢者でありました。

また、エアコン設置の推奨につきましては、民生委員の見守り活動や社会福祉協議会による高齢者見守り事業において、活動の一環として未設置世帯への設置を推奨しております。

議員ご指摘の非課税高齢者世帯へのエアコン設置費用の助成につきましては、既に能代市や北秋田市等において実施していることを把握しており、今後は、そうした状況や町の財政状況等を踏まえながら、事業の在り方を検討してまいりたいと考えております。

私からは以上であります。

○議長（皆川鉄也君） 鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 皆さんお疲れ様です。

それでは、私から教育に関する見上議員の質問にお答えいたします。

はじめに、「小・中学校の給食費の無償化について」ご質問にお答えいたします。

町では、平成27年度から半額免除を実施しているほか、近年の物価高騰による食材費の値上がり分についても町が負担しており、子育て世帯の支援が図られているものと考えております。

また、給食費の無償化は国や県が行うべきと考えておりますが、新聞報道等によると国では、「令和8年度から小学校を念頭に給食無償化を実現し、中学校でもできる限り速やかに実現する」といった動きや、県においては、知事の重点政策として「小・中学校の給食費無償化」が掲げられておりますので、引き続き国や県の動向を注視してまいります。

次に、学童クラブ関係についてのご質問にお答えいたします。

放課後児童クラブは、児童の保護者が家庭にいない時に、適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る事業であり、児童にとって安全・安心な居場所であることが重要であります。

はじめに、長期休業中の放課後児童クラブは、開設時間が長く、支援員の職務も通常期より負担が多くなります。

また、昼食を提供する場合は、弁当の注文や受け取り、代金の管理、食後の片付けのほか、食品衛生管理など、新たな業務が追加となり支援員の負担が増えるため、児童の安全確保が困難となることが想定されますので、引き続き利用者各自が昼食を準備していただきたいと考えております。

次に、放課後児童クラブの場所につきましては、下校後の安全・安心な居場所である





そこに子育ての不安っていうのは、私も本当に都会で子育てをしてきて本当に大変な思いしてきたんですけれども、そういうことに寄り添うということで、移住者の中には子育て世帯っていう移住者はおらなかった、あ、これ通告外ですのであれです、答えが大変だと思いますけれども、いずれこういう体制を取って、それで保健婦と保育園と子育てに関連するチームを作って、子育て課のような課を作っていくというこの考えはないですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 通告にありませんので、今すぐここで答えることは難しいことではございますけれども、いずれ先ほど組織の話につきましては笠原議員からも少しありましたけれども、組織全体のバランスを見ながら、そういったことは可能なかどうか、いずれ検討はしていきたいなと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） 8番議員、ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 教育長に伺います。

今のままのランチルームですって行っていくということですが、今までいろんなところ見てきましたけれども、ランチルームはもう固定化されてますよね、椅子が。椅子がもう固定化されて動かない。それで空いてるところを、まあ八森小学校の場合は使うところになります。これが本当に適切かと、これで大丈夫なんだということがちょっと私は信じられないですけれども、例えば別の場所に空き教室があるとか、それから地域の学校の向かいに空きのあの立派な、前レストランやっところの空きの施設、施設っていうか住宅もありますけれども、そういうのを利用する。空き教室は、まあ川尻教育長の場合は「ない」と言われましたけれども、そのような場所を使うとか、また新たに造る場所を考えると、そういうことはまあ予算の関係であれですけれども、私はとてもランチルームが学童保育、登録が1年生から6年生まで登録している人が36人、それぞれ前後だったと思うんですけれども、あそこに入って保育をするということは、それはね大変ですよ、職員は。職員はそれは大変です。まあおやつ、お湯を沸かして、簡単にカップラーメンとか食べたいとかってあるんで、お湯もなければ何にもない。安全のガードで職員もいろいろ大変だからということであればね、改善の余地がないですよ。何かしらそこから子どもたちのための考えたら、7時半から開いて6時までですよ。それで昼の弁当持って、おやつはどうなってるか分かりません。で、学童保育は

2,000円です。で、まあ山本町は500円です、あ、山本、三種町は500円ですけども、これでそれで職員が大変だからということで何もできないということであれば、子育て支援としてはちょっと町としてはちょっとどうかと思いますが、今一度、教育長の考えを伺います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 見上議員の再質問にお答えいたします。

まず放課後児童クラブは、先ほどもお話したんですが、学校が終わった後に子どもたちが安心して安全な場所でなければいけないと感じています。それで、現在ランチルームを活用しているんですが、放課後児童クラブは学校とある程度切り離して行っております。ですから、ほかの教室を使うというよりも、切り離しが可能なランチルームを活用しているということです。今後、利用者、利用する子どもたちの数が減った場合には、またどこかの教室が利用可能かについては今後考えていきたいと思っています。

ほかの場所についてというお話もありましたが、移動にまず時間がかかるということと、移動に際しての交通事故の心配もあるということで、学校に隣接しているのが子どもたちにとって安全な場所であると考えております。

最後に、支援員の方々は時間いっぱい何もしていないんでなくて、とてもいろんなことを気を配りながら子どもたちのために勉強を見たり、心を開放したりと、いろんなことをこう支援していただいています。ですから、保護者の皆さんにも安心して預けていただいているのではないかと考えております。ですから、現状をこのまま維持してまいりたいと思います。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 学校側の考え方としては、ランチルームっていうのは衛生面で大丈夫なんですか。放課後部活を終えた、もうほこりをいっぱい持ってきた子どもたちがランチルームで利用する。で、それはそこで食べることに、衛生的に一番気を使わなければならないところなんですけれども、そういう衛生面については考えなかったのですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 見上議員の再質問にお答えいたします。

今ご指摘のありました衛生面に関しては、これからも学校や支援員と一緒に安全・安

心な場所であるためにいろいろ注意を払っていきたいと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 学校給食の無償化ですけれども、国の方は、まあ8年度から行う、まあ県の方も鈴木知事がやりたいということを言ってますけれども、今、国会はもう混沌としてます。で、国会も今、空白になってます。これが8年度から利用できるのかどうなのか。野党の方々も戦々恐々としてますけれども、こういう中でですね国の動向を見たり県の動向を見たりということではなくて、やはり町として食育をどのように考えるのか。で、子どもたちに、保護者たちに安心して子育てができる、こういうことから近隣の市町は給食の無償化を行っていると思うんです。いつまでもこの国の動向、県の動向、そしてこういうことでなければ発言できないということは、ちょっと情けないと思うんですけれども、国の動向はどのように考えてますか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの8番議員の質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 国の動向では小学校を念頭に8年度からって言ってますので、そこを注視してまいりたいと思います。

あと、我が町は、先ほどもお話しましたが、27年度から半額免除、さらに現在話題になっている食品の高騰分については、町の方で負担しているという手厚い支援をしていると思います。ですから、今後もこの状況が続けてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 動向を見ながらということで全県の様子を見てみますと、小坂町でも半額負担であったのが全額負担になりました。ほとんどが今もう給食の無償化を行っております。ここで八峰町が頑なに半分払ってるから、材料費が上がってるからということで、自分たちの都合で保護者目線に立たないでこれ続けているのは、やはり周りからいろいろ言われるのではないかと思います。答弁は変わりませんので、答弁は要りません。

これで1番目の質問を終わります。

2問目に入ります。よろしいでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） はい、どうぞ。

○8番（見上政子さん） 救急搬送で4人が運ばれたということです。これはやはり熱中

症でもう我慢ができなくて、もうふらふらの状態で多分運ばれたと思います。で、まあ町としては一人暮らしに対して見守りを行ってるからと言いましたけれども、私も何人かに聞いたら、「この猛暑の中、誰も来ませんよ」っていうことが、「誰か来てた」って言うと、もう誰も来てない。この猛暑の中、これを民生委員の方々に任せるということは、これは本当に酷だと思います。歩くのも大変な中で。これは見守りはやってないということになると思います。

そして、能代市で行ってる、まあ三種町も行ってますけれども、今、このエアコンっていうのは生活の必需品となってます。それで適切なエアコンの設置をしてくださいっていうことを放送するということは、町としては全世帯にエアコンが設置しているものと考えて放送しているのですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの８番議員の質問に対し、答弁を求めます。

休憩いたします。

午前１１時５３分 休 憩

午前１１時５３分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁を求めます。工藤防災町民課長。

○防災町民課長（工藤善美君） 見上議員のご質問にお答えします。

町の方では、前日もしくは当日に気象台の方から熱中症警戒アラートが発表された段階におきまして、防災無線におきまして、熱中症の予防警戒というふうなことで防災無線の方で流させていただいております。

ただし、エアコンを全世帯が設置しているというふうなことを想定はしておらず、エアコンを設置しているご家庭では適切にお使いくださいというふうな意味合いで放送させていただいております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。８番見上政子さん。

○８番（見上政子さん） 町としては、猛暑対策としてエアコンのない世帯にはどのような対処を熱中症対策として行うのか。まあ公民館に来てくださっていうこともありましたけれども、本当に「どうやって行けばいいずや」っていうふうなことです。そのための車の利用、いろいろあると思うので、町の方で手配しますので利用してください、

こういうことはちょっと大変ですけども、このくらいのものであれば駄目だと。子育て支援と同じで、まあ前に戻りますけれども、部活とか終わった場合、移動、バス、移動の車も用意してあるんですよね。学童保育は地域ばらばらですので。そういう意味でも、これを打ち出して猛暑対策としてやっていくのであれば、もうちょっと手厚い支援が必要だと思います。

で、私は常々考えてるんですけども、コミセン、コミセンをうまく利用する。で、コミセンまでだったら行けるんじゃないか。コミセンにキンキンに冷えた状態、和室でも用意しておいて、ここに來れる人は避難してくださいということで水分と部屋を用意しておく、こういうことが必要だと思います。エアコンの補助、設置も町から何もないとしたら、せめてこういうことを考えられるんでないかということは、私はもう猛暑になった場合、いつもそう思って、何でコミセンさ逃げていげって言わないのかなっていうふうなことこう考えてるんですけども、そのためにコミセンに対して補助を出すとか人員の補助を出すとか、そういうことを考えるべきではないかと思いますが、猛暑対策として今ひとつお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。岡本総務課長。

○総務課長（岡本勇人君） ただいまの見上議員のご質問にお答えいたします。

いわゆる避暑施設ですね、クーリングシェルターと呼ばれておりますが、こちらの設置につきましては、国でも設置の呼びかけがございまして、町としましては先ほどご質問の中にもありましたとおり、ファガス、峰栄館を、まあ指定という形ではないですが、推奨しておりまして、利用を呼びかけておりますし、施設側の方でも来ていただけるようにお声掛けをしているものと認識をしております。

また、今年は例がございませんでしたが、各自治会でも自主的に、今日は暑いので、暑くて家にいられない人は自治会館に來てくださいというふうに声掛けしてもいいかというようなことでお話があつて、ご協力を願っている、そういう場合は自治会の判断でやられていることについては是非お願いしますということで協力をお願いしている場合もございしますので、そういった形で個別に対応されてるものと考えております。

また、今年度ですね自治会の会館管理費などを含めた運営費の補助金の増強も行っておりますので、こういった自治会支援拡充した中で、自治会の各自の判断で暑い時にですね避暑施設として自治会館をご利用いただくことは積極的にやっていただければありがたいと考えております。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） ありがたいじゃないんですよ。町の方で猛暑対策としてこのようにしましたから、自治会の皆さん、会長の皆さんご協力してください、そのための費用は町で出しますからということをはっきり打ち出さないと、連絡があったからではないんです。今、この猛暑というのは、もう来年ももう何年も続くというふうなことが報道されてます。このための対策をしっかりと取らないと、本当に非課税世帯、本当に屋根の低いところで扇風機だけ回して、未だに後遺症が続いてるっていう高齢者もいます。こういうことを命を守る猛暑対策ということを真剣に考えないといけないと思います。その辺、町長どのように思いますか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 猛暑対策でございますけども、非常に私は大事な取り組みであるというふうに思っております。先ほど答弁は総務課長がしたとおりでございますけれども、自治会長会議等、年2回ありますので、そういった機会を捉えながらですね、自治会長の皆様には是非そういったところを積極的にやってくれというような話を私からもしていきたいなと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。

（「議長、休憩。休憩さねったすか」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 休憩しません。

8番見上政子さん。

（「11分あらったよ」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） え。

（「もう11分あらった」と呼ぶ者あり）

○議長（皆川鉄也君） 続けます。

8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） エアコンの設置というのは、猛暑対策として、熱中症対策として能代市も考えて、熱中症対策として行ってるんです。で、町として熱中症対策が全く、暑い時は公民館に来てください、それだけの放送。で、エアコンある人は設置してください。それだけでは不十分です。バタバタ倒れていく人がこれからも出てくると思います。このことについては、本当に真剣に取り組んでもらいたいと思います。

次に、教育長の方に、夏休みの子どもの健康管理というかね、夏休み中であっても学校の子どもは学校の子どもです。で、そういう意味でも、どうしてるのかというこう、学童に入っていない子どもに対して電話でもいいから、どうしてる、エアコンあるが、ねがっていうふうなこう確認とかね、大変でねがっていうことをやっぱり連絡するようなこういう健康管理が、このように続けば、設置されたところはいいいんですけれども、そうでない家庭というのはもう大体見当がつくと思いますので、そういう対策を取っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。鈴木教育長。

○教育長（鈴木洋一君） 見上議員の質問にお答えいたします。

放課後児童クラブを活用していない子どもたちは、うちに誰か子どもたちを見てくれる人が、家族がいるということで児童クラブを利用していません。ですから家族の方が大切に見守ってくれていると思いますので。

あと、調査しないのかということにつきましても、日頃から、中学校であれば生活ノートといって、いろいろこう一人一人が自分の生活についてや思いについて毎日担任と情報を交わしております。あと小学校でも、担任の先生が子どもたちといろいろなお話をしていると思うので、そういう会話の中から子どもたちの状況を把握しているということでございます。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） 必ずそばに、低学年の子どもであってもそばにいるということが条件ですけれども、中には学童保育、学童クラブの方には行きたくないとか家の方がいいとか、家族がいなくとも家の方がいいとか、そういう子どももいると思うんです。で、もし四六時中そばに親がいるというわけでもないの、そういう意味でも学校の方でエアコンの設置していない世帯っていうか家庭はどのくらいあるのかっていうことは、ちょっと把握していく必要があるのではないかと思います。そう考えます。

そして、町長にあと一言お願いしたいんですけれども、先ほどから言ってますけれども、学童保育はランチルームになってます。で、今、部活とか、それから、ほかの方では学校の区域以外に、まあ敷地内もそうです、敷地内に学童クラブ、敷地以外に学童クラブ、そして大きいところでは、まあうちの孫も飯島小学校では学童クラブと、それから子育て支援センター、2つあります。そういう意味で、今、ランチルームが仕方がな

いからそこでやってるということですが、その子育て支援センターみたいなものを設ける考え方はないですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 子育て支援センターのような建物を建てないかというようなことでございますけれども、見上議員の言うとおりでですね何でもいいものがあればいいわけでございますけれども、町としてもですね厳しい財政状況でございますので、現時点では非常に厳しいかなというふうに思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。8番見上政子さん。

○8番（見上政子さん） これで質問を終わります。

○議長（皆川鉄也君） これで8番議員の一般質問を終了します。